

中途視覚障がい者向け「音声パソコン」指導サポーター養成講座研究

NPO 法人ウエルネスハート

〒673-0862 兵庫県明石市松が丘3丁目11番3号

助成事業の概要

①講師を招いての音声パソコン講習。毎月1回(全12回)開催。一回の講習は、午前・午後(各2時間)音声パソコンの基礎、エディットでの文章作成からインターネット・メール・ワード、エクセルなどを画面を見ないでブラインドタッチで操作、使用できるように学ぶ。

②講習後の復讐と練習会の開催。毎月1回(全12回)開催。1回の開催は、午前・午後(各2時間)音声パソコン講習受講生が各自、講習を受けた内容を繰り返し操作練習する。操作手順を保持し、視覚障がい者にわかりやすいテキストを作成していくための資料として保存していく。

③サポーターとしての指導研修。
視覚障がい者が音声パソコン基礎講座やフリーサポートの実習の際、視覚障がい者の隣でサポートを実地研修。同時に視覚障がい者とのかかわり方を学ぶ。

*サポーターとしての指導研修は、「クリスタルオンパソ」開催の基礎講座やフリーサポートに音声パソコン講習受講生全員が月に1回(全12回)参加。

事業の成果

1、音声パソコン並びに指導サポーターの必要性が周知されてきました。
この講座の講習を毎月実施させていただけた事に

より、視覚障がい者以外の方にも「音声パソコン」の存在を知ってもらえ、サポーターの必要性などの認知をしてもらえるようになってきました。

2、不足している音声パソコン指導サポーターの増員につながりました。

指導サポーターを目指す人が3名から始めた講座も10月からは4名の受講者となりました。今年度には受講をされませんでした。新年度からはもう一人受講者が増え、5名でサポーターを目指す予定となっています。徐々にではありますが、サポーターの養成、増員につなげる講座を開催することができました。これからは、視覚障がい者の方がより充実した音声パソコン講習を受けられる環境につながります。

3、練習会日を設けた事によるスキルアップができました。

講師より1度指導を受けただけでは、なかなか身につかず、手順を忘れてしまっている事も多くありました。しかし、練習会日を設けた事により、受講者同士が教え合い、互いに手順を確認していく事ができ、手順をより習得できる環境でスキルアップにつながりました。

ただし、当初目標としていた指導テキストの作成については、この練習会の時間内ではほとんど作成ができませんでした。それほど、音声パソコンを指導サポートするために基礎から操作手順を習得していくことが、とても難しい事がよくわかりました。そして、時間をかけていく必要性を感じました。

4、サポーターとしての経験が様々な障がい者と
晴眼者がそれぞれに抱えている、社会の課題に気
づき、ユニバーサルにつなげていくきっかけとな
りました。

クリスタルオンパソの基礎講座に参加する事で、
サポーターの実地を経験する事ができ、サポート
する際の問題点や注意点、サポートの仕方を学ぶ
事ができました。

そして、この基礎講座により、障がい者とそうで
ない者との、相互理解を生むためにはどうすれば
よいのか。お互いの立場を尊重しながら理解につ
ながる関わり方や表現の仕方などの工夫を考え、
行動してみる良い機会となりました。

5、視覚障がい者の QOL の向上や社会参加につ
なげる事に役立てることができました。

この養成講座を受講された方が、この経験を活か
し、視覚障がい者へ音声パソコンで広がる出来る
事を紹介する事が出来るようになってきました。

いき、視覚障がい者が充実した環境で音声パソコ
ンの講習を受ける事が出来るようになる事を目指
します。

2、引き続きの養成講座開催

養成講座で学ぶべき内容の多さが浮き彫りとなっ
た事から、引き続き、講座を開催していき、より
スキルアップを目指して、サポーター養成に寄与
していきます。

3、指導テキストの作成

今年度達成出来なかった指導テキストの作成をし
ていきます。

4、積極的な実地練習

一年間のスキルと経験を活かし、視覚障がい者へ
のサポートの実地を積極的におこなっていきま
す。

成果の広報・公表

□講座の様子を写真を撮り、講座開催のご案内と
講座の様子などをフェイスブックへ投稿しまし
た。

□中途視覚障がい者の応援事業の一部として、中
途視覚障がい者応援事業成果報告会にて報告をさ
せていただきました。

□神戸新聞の取材を受け、記事掲載されました。

□ウエルネスレター春号にて、活動報告の中の記
事掲載をしました。

今後の展開

1、受講生の増員

新年度からは5名での受講となりますが、あと、
3名ほどの増員を目指し、サポーターを養成して